

4 回の矯正経験を経て—私が考えるいい矯正医の見つけ方

吉川 千明氏

矯正の失敗は、インプラントの相談で訪れたセカンドオピニオンの先生が偶然に見つかる。

「吉川さん、インプラントどころじゃありませんよ！歯が大変なことになっていますよ。」

IMPA は 113 度。上下の前歯が正常値より 10 度も傾斜し、無理をしないと口が閉じない状態になっているという。今の矯正治療のままでは正常な咬合にすることは無理だということ。CT を撮ってくれた K 先生からの予期せぬ指摘。2 年の月日と多大な費用を払い、結果、私の歯は歯が突き出し、無理して唇を突き出さないと口が閉じない状態になっているのだと。

初めての矯正は小学校の時。2 回目の矯正は中学校の 2 年間。歯並びを整えてからインプラントを入れるためにスタートした 3 回目の矯正は 45 歳になってから。完成を目の前にしてあわやのところまで治療の間違いが発覚。現在はサードオピニオンで訪れた表参道のよごさわ歯科矯正でやり直しの矯正治療をしています。上下の歯を 2 本抜歯して、2 年がかりで広げてきた歯のアーチを反対に閉じていく治療をしています。治療の予想期間は最短でも 30 ヶ月。このやり直し治療も、今年の 4 月で 1 年が経ちました。事前に受けた説明通りに診療が進んでおり、今はとても満足して通っています。あの時の私の困った状況を察し「与五沢先生のところへ行きなさい！」と複数の方から推薦をいただいたおかげで、窮地から一転、日本で最高の矯正治療を受けられていることに心から感謝しています。これまでの経験を通して、本来あるべき矯正治療とは何か。私なりに考えてみました。

—よい矯正医の見分け方—

1. 歯、骨、筋肉—あなたの歯を総合的に診断できていますか。
2. 歯を抜くか抜かないかだけでものを言っていないですか。
3. 正確な矯正計画、予定が立てられていますか—矯正期間をむやみに短く言っていないですか。
4. 矯正に適した、落ち着いた治療環境が整っていますか。
5. 医師はじめスタッフの健康管理と健康状態は良好ですか。
6. 医師はじめスタッフの精神状態はフラットで落ち着いていますか。
7. 作業の流れが美しく、無駄がない。
8. 一回ごとの時間の読みが正確、余計な時間がかからない。
9. 院内のチームワークがよく、申し送りができている。コンセンサスがとれている。
10. 他のクリニックとの交流が頻繁にあるかどうか。情報交換できる仲間がいるかどうか。
11. 矯正を取り扱わない医師達が患者さんを送り込んでくるクリニックであるかどうか。
12. その医師は人として謙虚ですか。

治療の間違いの発覚から、他院での再治療のスタートまで、それはお金と時間のロスだけでなく、神経もかなり擦り減らしました。それでも歯科矯正が大事だと思うことに変わりはありません。きちんと並んだ歯と咬み合わせで、自分の歯で食べ、歯周病を作らないで過ごすことは、健康で一生を過ごす為の秘訣だと思います。私の経験が、これから矯正治療を受けられる皆様の参考になれば幸いです。

吉川 千明氏

美容家、矯正治療経験者